

## 福島イノベーション・コースト構想を推進するための課税の特例 「イノベ税制」の申請手順のご案内

- ◆ あらかじめ指定されている区域内において、対象の事業を実施する**個人事業主または法人が、所定の「事業実施計画書」を作成し、県の認定を受けることで、所得税または法人税や不動産取得税等の特例を受けることができます。**
- ◆ 詳しくは、福島県ウェブサイトをご覧ください。申請に必要な書類のデータや記載例などを掲載しています。**ご不明な点等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。**

福島県ウェブサイト「福島イノベーション・コースト構想の推進に係る税の優遇措置について」

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015e/innov-zeisei.html>



### ①「新産業創出等推進事業実施計画」の作成

- 所定の様式に基づき、新たに実施する予定の事業について、
  - ・ 目標や内容、業種名
  - ・ 事業を行おうとする所在地名
  - ・ 設備投資予定額や予定雇用者数
 などを記載いただきます。

事業実施計画書の作成や添付書類の準備に当たっては、管轄の地方振興局において、事前に御相談に対応します

### ② 添付書類のご用意

- 主な添付書類
  - ・ 住民票または履歴事項全部証明書・定款
  - ・ 確定申告書または事業報告書・財務諸表
  - ・ 事業実施予定位置図、施設配置図
  - ・ 法令等遵守の誓約書等への署名 など

### ③「認定申請書」と合わせて①、②の書類を提出

- 事業を行う事業所が所在する区域を管轄する県地方振興局にご提出ください。(メール、郵送どちらでも可。)

### 計画認定

- 申請から認定まで、審査には概ね1か月程度かかります。
- 認定された計画に基づき、設備投資や雇用を行った場合、課税の特例が受けられます。

### 【お問い合わせ先】

**ご不明な点がありましたら以下の各連絡先までお問い合わせください。**

- ◆ 制度全般・総合調整、事業実施計画の認定に関すること  
福島県 企画調整部 福島イノベーション・コースト構想推進課 (024-521-7853)  
各地方振興局 企画商工部 (以下の各地方振興局お問い合わせ先一覧を参照)
- ◆ 地方税の課税免除に関すること  
福島県 総務部 税務課 (024-521-7068)  
各地方振興局 県税部 (以下の各地方振興局お問い合わせ先一覧を参照)
- ◆ 国税(所得税・法人税の特別償却・税額控除)に関すること  
国税庁 仙台国税局 各税務署へお問い合わせください。

《各県地方振興局のお問い合わせ先一覧》

|          |                |                 |                 |
|----------|----------------|-----------------|-----------------|
| 県北地方振興局  | 福島市杉妻町 2-16    | 企画：024-521-2658 | 県税：024-521-2692 |
| 県中地方振興局  | 郡山市麓山1丁目 1-1   | 企画：024-935-1323 | 県税：024-935-1251 |
| 相双地方振興局  | 南相馬市原町区錦町 1-30 | 企画：0244-26-1142 | 県税：0244-26-1126 |
| いわき地方振興局 | いわき市平字梅本 15    | 企画：0246-24-6007 | 県税：0246-24-6032 |

## 福島イノベーション・コースト構想を推進するための課税の特例「イノベ税制」のQ&A

Q1

福島イノベーション・コースト構想とはなんですか？

A: 東日本大震災や原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業・雇用の回復を目指し、新たに産業集積を進める構想です。

Q2

どのような事業を行えば特例を受けることができますか？

A: イノベ税制の対象となる事業については、下記の2つの区分があります。

**A 類型** 重点6分野に該当する事業であって

- ・ 新たな製品の研究開発の推進等に資する事業
- ・ 独自に開発した技術を活用した新商品の開発等に関する事業
- ・ 先進的な技術の活用や既存の技術の改良による新商品の開発等に関する事業

**B 類型** 福島国際研究産業都市区域における産業集積の形成及び活性化を図る上で中核となる事業※

※以下のいずれかに該当する取組における製品の製造・販売やサービスの提供等

- ・ 産業の自立的・持続的発展の実現に寄与する取組
- ・ 面的サプライチェーン・共創的コミュニティの構築に寄与する取組
- ・ 安心して暮らせる生活環境の整備に必要な取組

Q3

赤字の事業者にもメリットはありますか？

A: 税目(不動産取得税、固定資産税)によっては、特例を受けられる場合があります。

Q4

設備投資には、どのようなものが該当しますか？

A: 減価償却資産のうち、建物・構築物、機械・装置、器具・備品に該当するものが対象です。  
車両運搬具に該当するものは対象外です。(※器具・備品はA類型のみ)

Q5

補助金の交付を受けて事業用設備を取得した場合、課税の特例は適用されますか？

A: 適用されます。ただし、取得価額は法人税法上の「圧縮記帳」の適用を受けた場合は圧縮記帳後の金額となり、「積立金方式」を用いた場合は補助金額等を差し引いた金額となります。

Q6

中古物件を取得した場合、課税の特例は適用されますか？

A: 適用されません。取得した資産が事業の用に供されたことのないものが対象です。

Q7

避難対象者雇用者等または特定雇用者を雇用する場合の特例を受けたいと考えています。対象者はどのような方ですか？

A: 次のいずれかに該当する方です。

① 平成23年3月11日に、イノベ区域※内の事業所に雇用されていた方

② 平成23年3月11日に、イノベ区域※内に居住していた方

※いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村の15市町村

なお、上記に該当しない方でも、専門的な知識及び技能を必要とする業務に従事する方は対象となる場合があります。(A類型のみ)